

井上明夫新聞 ～日田市議会だより～



平成20年も終わりに近づいて来ました。

今年は全国的には「食」への信頼感の失墜や格差社会の問題などにくわえ、アメリカ発の金融危機も発生し、あまり良い話題がありませんでした。

日田市も経済が冷え込んでいますが、キャノンの進出による経済効果に希望の光を見出そうかというところです。

一方、日田林工の夏の甲子園出場やインターハイや大分国体での日田市の選手の活躍は明るい話題でした。

今後の地方自治体の見通しに楽観は許されませんが、前を向いて積極的に行動して行こうと思います。

9月議会(平成20年度第3回定例会)

「水郷ひた応援基金」で「ふるさと納税」確保を！！

「ふるさと納税」は個人の所得税の一定割合を個人が育ったふるさとに納税する制度で、かんたんな内容は下記のとおりです。

- ①「ふるさと」の定義は「**個人が小中学校の義務教育期間にすごした都道府県**」で複数の場所で過ごした場合は期間の長い2箇所となります。
- ②「ふるさと納税」した税金は、翌年の確定申告でその自治体への寄付金として扱われ、**所得税や住民税が一定割合で控除**されます。

日田市ではこの制度を利用して、日田市を「ふるさと」とする人たちからの寄付金で、「水郷ひた応援基金」をつくるための条例を9月議会で制定しました。

みなさんも**親戚や知人に日田市への「ふるさと納税」を是非すすめてください。**

キャノン進出予定地のごみ処理費用が倍増！！

今年2月にキャノンの立地予定地から昭和40年代に日田市が埋め立てたゴミが出てきて、その処理のために3月議会で1億3千万円の補正予算を組みましたが、作業を進めてみるとゴミの量が予想以上に多かったことと分別の手間がかかることから、9月議会で再度1億4千万円の補正予算を組みました。

キャノン関連では立地地区周辺の市道整備にも7300万円の補正予算を計上したので、なんとしても**日田市の経済浮揚につながる立地**にしなければなりません。

